

たいと考えています。また間伐事業等の高補助率の活用が容易になるため、林家の方々が森林を大切に育てていくよう推進します。林道事業は、平成14年度に着手した中津川大迫線が本年度で完了します。治山砂防事業は2箇所を計画しました。

### 〔農業委員会事業関係〕

農業委員会では農地の保全及び遊休地や荒廃地防止のため、町内の担い手農家や認定農業者並びに一般農家へ町農用地利用集積促進事業奨励補助事業を活用し、農地流動化の促進及び農業の中核的担い手の育成・確保を図り、農地の有効利用と生産性の向上を図ります。なお国の農地利用集積実践補助事業は、当地域での活用が難しいので山間部を含めた農地の下限面積の引き下げを国県へ要望します。農業者年金の加入者は、新制度スタート以降17名であり、新制度は確定拠出型で長期に安定した制度ですので、更に加入促進を図ります。

### 〔交通基盤〕

交通基盤は、振興計画並びに各種計画に基づき計画的に維持管理及び整備を進めています。現在、町では18.4路線、19.9・5kmの町道を管理しており、平成15年9月現在、舗装率73・6%、改良率44・9%です。本年度も町民の生活道路並びに産業道路として計画的に維持管理並びに改良整備を進めます。



維持工事は、軽微な補修工事、路肩伐開清掃作業等について直営作業班の5名で引き続き対応する計画ですが、全線に作業が行き届かない状況

のため集落周辺の伐開清掃は、各自治公民館にお願いをしたいと思います。また改良工事の計画のない生活道路は、路面の荒廃の著しい14路線の維持工事を計画しています。

道路改良整備は、継続の10路線について、過疎債・辺地債・町単独事業並びにダム交付金事業で整備をおこなっています。平成15年度測量・設計を実施した4路線は、新たに改良工事に着手する計画です。観音滝線は、国庫事業の緊急地方道整備事業で幅員2mの歩道付きの改良整備を計画しています。その他2路線の測量・設計並びに法面崩壊防止工事等を実施予定です。

国県道の整備は、地域高規格道路薩摩道路が平成15年度測量を終え、用地買収に入っており、平成16年度には一部工事に着手の計画です。薩摩道路の整備に伴いインターチェンジへの県道取付けのため県道黒木新地線並びに県道薩摩祁答院線の改良工事も計画されていますので、今後も早期完成に向けて要望活動をおこないます。

県道牧園薩摩線の永野丁場地区の整備は一部用地買収が遅れており、平成16年度まで繰り延べされる予定です。その他、県道薩摩祁答院線、国道267号線の局部改良等は、地元の整備促進委員会並びに各種期成会と早期整備に向け要望活動をおこないます。

### 〔教育関係〕

第四次総合振興計画及び町教育行政の重点施策に基づき「薩摩の未来を拓く教育を推進する」ため、引き続き教育環境の整備に努めます。

教育条件整備の主なもの、町内小・中学校及び幼稚園の保健室にエアコンを設置するほか、永野小学校屋体耐力度調査並びに倉庫解体工事、中津川小学校校門等改修工事及びグラウンド整備工事、幼稚園門扉設置工事をおこないます。完全学校週5日制に対しては、今後とも地域ぐるみで青少年の健全育成が図られるようそれぞれの教育力への支援にも鋭意努力します。次に学校教育は、「学力向上」を最重点課題として学力

の実態把握や指導法の改善を更に進めます。また国際理解教育の推進のため中学校、小学校への継続的なALTの派遣、「総合的な学習の時間」を通じた郷土教育への積極的な取り組みに努力します。

社会教育は、生涯学習の充実に努め、各種講座を取り入れながら活力ある地域づくりを推進するとともに、行政間の連携を密にし、町民一人ひとりの意識の高揚に努めます。また文化、郷土芸能等の継承を重視し、地域や各種団体の協力を得ながら住民への周知をおこない、文化財等は所蔵

